

令和8年度 武山支援 学校目標

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	自立と社会参加を目指し、小学部から高等部までの教育内容を見直し、キャリア教育の観点から、系統的に再編成し、教育課程の改善を図る。	①キャリア教育の観点から、学習単元を整理し、学びの連続性の構築に向けた教育課程の編成を推進する。 ②児童・生徒一人ひとりの実態に応じた ICT 機器の活用により、学びが充実するように工夫して取り組む。	①知肢統一における各学部の学習内容の連続性・系統性のある教育課程について更に内容を深める。 ②ICT 機器活用に関する実践事例について、共有・積み上げを行い、児童・生徒の実態に応じた活用について保護者へ発信していく。	①知肢統一の諸課題と連続性・系統性のある教育課程について検討して改善することができたか。 ②ICT 機器の活用事例を共有し学校財産として蓄積することができたか。ICT の活用について保護者に発信することができたか。
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	主体的に学び、課題を解決する力の獲得を目指し、児童・生徒一人ひとりの実態に応じた指導・支援に取り組むとともに「わかる」授業を行うための授業改善を行う。	①アセスメントの結果を児童・生徒の教育的ニーズに応じた指導・支援に活かす。 ②児童・生徒の実態を的確に把握し、自立活動の視点を意識した指導を行う。	①授業改善の実践の中で、アセスメント結果を意識した指導案の作成や授業の振り返りを実践する。 ②チームで児童・生徒の見たてを考え、実態に合った具体的な自立活動を検討し、実践する。	①目標設定や支援方法について、アセスメントの結果に応じた設定や工夫ができたか。 ②自立活動を意識したわかる授業、日々の指導を行い、児童・生徒が成長することができたか。
3	進路指導・支援	地域での豊かな生活や「なりたい自分」を思い描き、自ら進路選択を実現できるような指導・支援を行う。	①社会参加に向けた主体的、自発的なコミュニケーション力の育成を図る。 ②地域や関係機関と連携を図り、児童・生徒の社会参加に結び付く、指導支援を行う。	①キャリアパスポートの目的や意義について、再検討し、児童・生徒、保護者と共通理解する。発達段階に応じた指導、支援について確認、共有する。 ②地域資源を活用し、地域や関係機関の人と関わりを持つ機会を設定する。	①キャリアパスポートについて再検討し、有効な指導、支援を実践できたか。 ②地域の資源を活用した授業を設定したか。学校内外の人と関わりを持つ機会を設定できたか。
4	地域等との協働	共生社会の実現を目指し、地域との連携や相互資源活用を通して、共生社会の担い手となる人を育てる。	①相互資源活用により、地域の学校との交流や共同学習を定着・発展させ、共生社会の実現に向けて理解推進を図る。 ②地域や近隣施設と協働して地域防災力を強化する。	①各学部にTMAPの理念を浸透させ、地域や近隣の学校等、交流や共同学習を推進し、地域資源を活用した授業を設定する。 ②学校運営協議会に昨年度設置した部会で地域の防災について連携を図る。	①交流等通して、児童・生徒間の相互理解が進んだか。また、取り組みを地域や保護者に発信することができたか。 ②地域や近隣の学校と協力体制を結べたか。
5	学校管理 学校運営	安全な環境を整備し、児童・生徒が安心して学ぶことができる学校づくりを推進する。 個の資質に大きく依存しない組織であり、人権を大切にした「学び合い」「支え合う」組織づくりを促進する。	①災害に備え、児童生徒が身を守る力をつけ、地域と連携した初期対応ができるようになる。 ②教員間のコミュニケーションを活性化し、同僚性を向上させる。	① 防災学習で生徒が自ら命を守る行動がとれるようにする。また地域と連携して災害時の対応を検討する。 ②様々な働き方の職員がいる中で、コミュニケーションを大切にして、互いの心身の変化に気づけるようにする。	①防災学習を通して児童・生徒が自ら命を守る行動が身についたか。地域と連携して災害時の対応を検討できたか。 ②コミュニケーションを図り、同僚性を高めることができたか。